

はじめに

第1章 WORK! DIVERSITY プロジェクトと海外状況整理部会

- 海外状況整理部会の役割
- 2019～2021 年度の検討概要

第2章 海外諸国の概要

【基本概念の解説を付ける】

1. 障害者その他働きづらさを抱える者の就業実態、就業対策と、雇用政策・福祉政策の融合状況
2. 障害者以外を含む「ダイバーシティ就労」の動向
3. 保護就労施設、ソーシャルファーム等の状況
4. 国連障害者権利条約の影響
5. COVID-19（新型コロナウイルス感染症）への対応状況
6. 日本と比較し、日本が学ぶべきことないし日本にとって参考となること

第3章 イギリス 【浜島委員】

第4章 フランス 【永野委員】

第5章 ドイツ 【石崎委員】

第6章 デンマーク 【事務局岩田】

第7章 フィンランド 【松井座長】

第8章 米国 【松井座長】

(※) 各国とも、基本的には、以下の構成でまとめる。但し、各国状況に応じ、別章を加えることは可能。

- (1) 障害者その他働きづらさを抱える者の就業実態、就業対策と雇用政策・福祉政策の融合状況
- (2) 障害者以外を含む「ダイバーシティ就労」の動向
- (3) 支援付き就労の状況
- (4) 日本と比較し、日本が学ぶべきことないし日本にとって参考となること

第9章 ソーシャルファーム 【米澤委員】

- (1) ソーシャルファームとはどのような概念か
- (2) 欧州のソーシャルファームの概要
- (3) 韓国のソーシャルファームの概要

第10章 世界の職業リハビリテーションの収斂進化と日本に求められる対応 【春名委員】

- (1) 「障害」についての総合的な理解の発展
- (2) インクルーシブな就業と雇用関係の実現
- (3) 多様で個別的な支援ニーズへの地域支援体制と人材育成
- (4) 新しい職業の意味や仕事の変化への対応

資料編1 各国比較表（ダイバーシティ就労基本表） 【各委員】

資料編2 COVID-19 の影響比較表 【各委員】